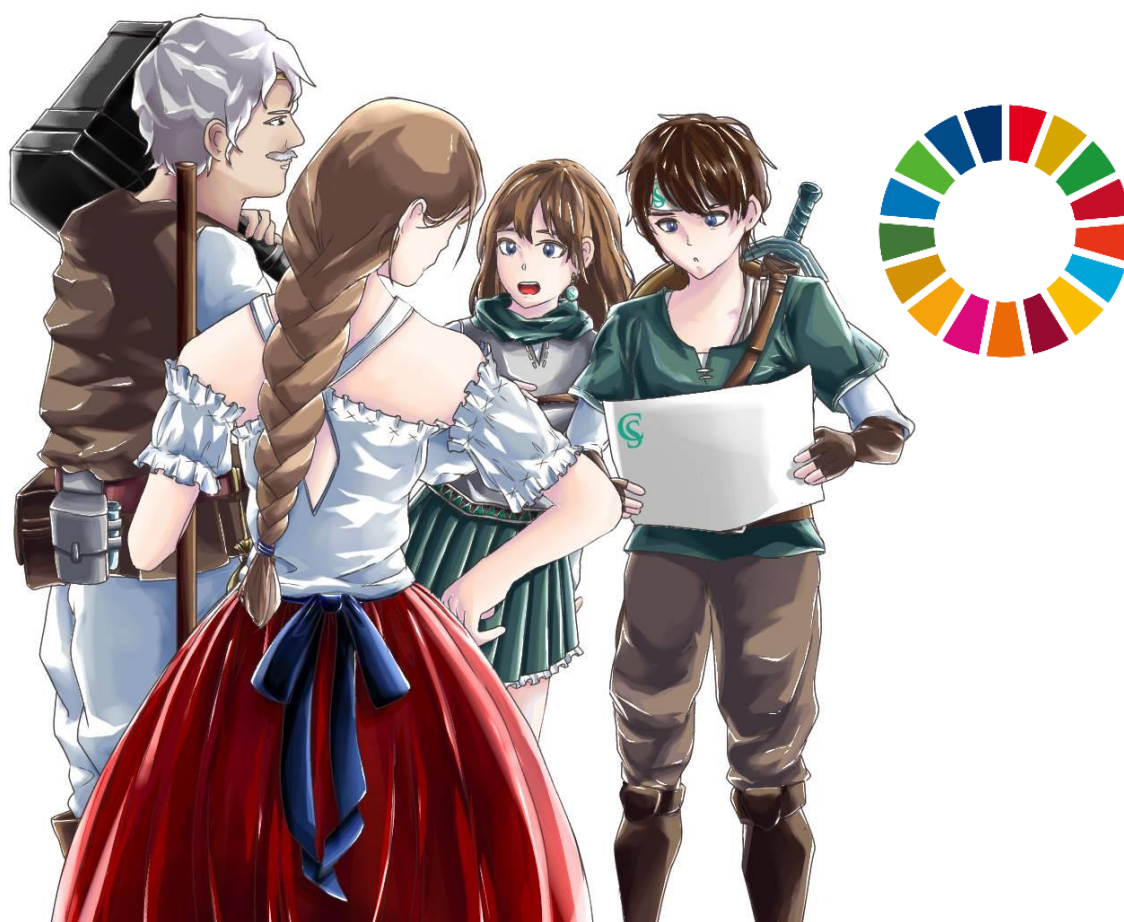




CHUSUGI
CHUO UNIV. SUGINAMI HIGH SCHOOL

Let's do fieldwork !

～探究の扉を開けていざ外へ～



Illustrated by Aoi.Y (CS58th)



「C.S JOURNEY」1年次後半はいよいよフィールドワークへ。
前半で学んだSDGsをもとに、問いを立てて実地研修を行おう。



はじめに

フィールドワークとは？

フィールドワーク（英：field work）とは、ある調査対象について学術研究をする際に、そのテーマに即した場所（現地）を実際に訪れ、その対象を直接観察し、関係者には聞き取り調査やアンケート調査を行い、そして現地での史料・資料の採取を行うなど、学術的に客観的な成果を挙げるための調査技法のことを言います。

中杉版フィールドワークでは、日帰り実地研修を行います。皆で「〇〇について、実際にどうなっているか見てきたい！」「□□の現状に触れて、その問題と解決策について改めて考えたい！」というように、それぞれが問題意識をもって現場を訪れ、見学やインタビューを行うことで、その問題に対する理解を深め、よりよい解決策を提案できるように考える学習活動を実践します。

フィールドワークって、どんなところに行くの？

皆さんが立てた問いに沿って、行き先を決めてください。たとえば、「食品ロス問題を何とかしたい」と考えるなら、コンポストを開発している工場や使用している農場を見学したり、子ども食堂を運営している NPO 法人の方にインタビューしたりするのもいいでしょう。「環境保全についてもっと学びたい」と考えるなら、水の循環を考える博物館に行ったり、ゴミ拾いを楽しくイベント化している団体を訪ねたりするのもいいでしょう。「若い人たちにもっと防災を普及させたい」と考えるなら、防災グッズを扱う企業のワークショップに参加したり、防災施設を観光施設として活用しまちづくりを行っている自治体に聞き取りを行ったりするのもいいでしょう。

自分がどんなことに興味があるか、そこにはどんな問いが立てられそうか、まずは書き出してみましょう。前半で学んだ SDGs の、どの分野が気になりましたか？前半の学習と紐づけて考えていくと、あれこれ思い浮かぶと思います。

いくつか書けましたか？では、それをするためには、どんなところに行って何をすればいいのか、考えてみましょう。ワクワクしますね。

学校の方であらかじめ用意するコースもありますが、まずはコースを企画してプレゼンしてみましょう。皆さんの考えた行き先が採用されるかもしれません。

フィールドワークって、何のためにやるの？

「現場を、現状を知る」ためです。今、何が起きているか——実際にその場に行くと、本やインターネットに載っている情報とは異なる局面が展開しているかもしれません。人々は様々な社会問題を解決するために日々尽力し、自然環境は気候変動の影響を受ける等して日々移り変わっています。現地の「今」を知ると、本やインターネットの情報は、既に古いものになっていると実感するかもしれません。

さらに、現地で問題解決に従事する方々から詳しくお話を伺うことで、本やインターネットでは知ることができなかった情報を得ることができるかもしれません。現状を正しく把握することは、現実味のある解決策の提案を生み出すことにつながります。

「今の」「生の」情報を、実際に行くことで感じ取ってきましょう。



もくじ

はじめに

1. 10月後半～3月にかけての学習予定表

2. ワークシート

- 〔1〕前半学習（SDGs）の振り返り
- 〔2〕フィールドワークのコースを考える
- 〔3〕コースプレゼン（クラス）
- 〔4〕コースプレゼン（全体）
- 〔5〕各コースのテーマについて学習（1回目・2回目）
- 〔6〕フィールドワーク事前学習発表会
- 〔7〕諸注意と事前学習
- 〔8〕コースごとに振り返り
- 〔9〕全体発表会
- 〔10〕2年次コースを知る【A 研修旅行リーダープロジェクト】
- 〔11〕2年次コースを知る【B アカデミックプロジェクト】
- 〔12〕1年 SDGs 探究のレポートまとめ

3. 【付録】フィールドワークのコースを考えるヒント

- （1）行きたいところはどこ？（行き先からコースを考える）
- （2）やりたいことは何？（活動内容からコースを考える）
- （3）こんなことができる？（自分のアイデアを条件に合わせていく）
- （4）フィールドワークのコース例
- （5）もっと探究！終了後のアウトプットの方法を考える

おわりに



10月後半～3月にかけての学習予定表

	プログラム	学習内容	ワークシート
10月	①前半学習 (SDGs) の振り返り 発表	前半のSDGs教材で学習したことや気づいたことや感想を、クラスでグループ発表 (ミニ発表会) を行いましょう。また、自分は今後のどの方面の課題に取り組みたいか考えましょう。	[1]
	②フィールドワークのコースを考える 調べる 話し合う	クラスでグループになり、どんなフィールドワークを行いたいのか、テーマ・内容・行き先を考えましょう。(ここで作ったシートは、フィールドワークの業者さんに渡します。)	[2]
11月	①コースプレゼン (クラス) 発表	グループごとに考えたコースを発表し、感想や改善点を言い合いましょう。その後、人気投票を行います。	[3]
	②コースプレゼン (全体) & 採用コース発表 発表	一体使用。クラスで選ばれたコースを発表し、業者さんから講評と採用コース発表をしてもらいます。(その後、コース選択&調整)	[4]
	③各コースのテーマについて学習 (1回目) 調べる 話し合う	グループ学習。文献や資料を用いてコースに関わる社会的課題を挙げ、自分にできる取り組みを考えます。	[5]
	④各コースのテーマについて学習 (2回目) 調べる 話し合う	グループ学習。文献や資料を用いてコースに関わる社会的課題を挙げ、自分にできる取り組みを考えます。	
12月	①フィールドワーク事前学習発表会 (クラス) 発表	各コースのテーマについて学習したことを発表し合いましょう。	[6]
1月	2年研修旅行1日目am: 諸注意と事前学習 (ゲスト有) 調べる 知る	1限: 諸注意 (一体で出発にあたっての最終確認) 2限: 午前の訪問先の事前学習 3限: 午後の訪問先の事前学習 4限: 各教室に戻ってHR	[7]
	2年研修旅行2日目終日: フィールドワーク 知る	現地研修実施	Let's go !
	2年研修旅行3日目am: コースごとに振り返り 話し合う 発表	1限～4限: コースごとに集まり、 ①現地研修の感想発表 ②発表・体験紹介の形態を話し合う ③発表・体験紹介の資料や道具作り ④リハーサル を行います。	[8]
	2年研修旅行4日目am: 全体発表会 発表	1限&2限: 異なるコースのメンバーで構成するグループを複数作り、発表や体験紹介を行います。 3限&4限: 一体で実施。各種コンテスト等に応募したチームまたは個人の作品の報告会を行います。	[9]
	①2年次コースの説明【A研修リーダープロジェクト】 知る	一体で実施。2年次のコース説明を聞き、何を選択したいか考えます。※初年度は教員からの、61期以降は (可能なら) 2年生からの説明を聞く	[10]
2月	①2年次コースの説明【Bアカデミックプロジェクト】 知る	一体で実施。2年次のコース説明を聞き、何を選択したいか考えます。※初年度は教員からの、61期以降は (可能なら) 2年生からの説明を聞く	[11]
	②1年SDGs探究のレポートまとめ (1回目) 書く	レポートの書き方を知り、各自A4・1～3枚にまとめます。	[12]
	③1年SDGs探究のレポートまとめ (2回目) 書く	レポート作成・続き	
	④1年SDGs探究のレポートまとめ&次年度の目標設定 発表	各クラスごとにレポートの読み合いorグループ発表 (ミニ発表会) をしましょう。また、次年度に向けて目標を各自で設定しましょう。※レポートは冊子にまとめる?	



ワークシート〔1〕前半学習（SDGs）の振り返り

（ ）組（ ）番（ ）

1. これまでの学習を振り返りましょう

箇条書き可。1人3分で紹介します。印象に残った回やその理由、感じたことや普段から取り組んでいることなど、できるだけ具体的に書こう！📝

発表形式（例）

【はじめ】（氏名）です。私は、○月に学んだ〜〜が印象に残りました。（以下、内容や理由等を具体的に）
【おわり】以上です。ありがとうございました。

2. グループになって紹介しましょう

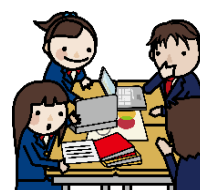
【聞き取りメモ】

名前	内容
さん	
さん	
さん	
さん	
さん	

今後、SDGsのどの項目に関連する課題に取り組みたいですか？項目と、どのように取り組むかを書きましょう。

取り組みたい項目（番号とタイトル）：

どのように（1人でも、チームでも、学校全体の取り組みでもOK。考えや提案を書いてみましょう）：





フィールドワークプランシート

()組 メンバー()

①コースのコンセプト

※SDGsの何番にあてはまりますか？()

②行きたいところ(ざっくりでも、具体的でも OK です)

東京・神奈川・
千葉・埼玉など、
関東近郊で
考えてね。

③どんな事前学習をしたいですか？

④このコースが実現するためには何が必要ですか？

⑤このコースの宣伝の文句を考えて下さい。



みんなが作ったプランは、旅行業者の方に
見ていただくよ。素敵なプランを作ってね！

記入例:次頁参照

プランシートの記入例

プランシートの記入例だよ。
参考になるかな？

これは、「動物園に行きたい！」という思いからできたプランだね。動物園の課題って何か、事前学習でしっかり学んで考えたいな。



フィールドワークプランシート

()組 メンバー()

①コースのコンセプト

動物園の存在意義、運営の仕方を学ぶ

※SDGsの何番にあてはまりますか？(8、13)

②行きたいところ(ざっくりでも、具体的でもOKです)

◎東武動物公園(ホワイトタイガーで有名)

◎こども自然動物公園(ワラビーやカンガルーを放し飼っています!)

③どんな事前学習をしたいですか？

動物園を研究している大学の先生や、大学生からお話を聞きたい

④このコースが実現するためには何が必要ですか？

大学の先生や卒業生のアポ取り

⑤このコースの宣伝の文句を考えて下さい。

高校生でも取っての動物園。子どもの頃とは違った見方で捉えてみよう!



フィールドワークプランシート

()組 メンバー()

①コースのコンセプト

都市が防災のためにどのようなインフラを整備しているか?を知る

※SDGsの何番にあてはまりますか？(6、11、13)

②行きたいところ(ざっくりでも、具体的でもOKです)

A 首都圏外郭放水路(通称「地下神殿」)

B そなエリア東京+東京臨海広域防災公園

③どんな事前学習をしたいですか？

「地下神殿」観光プロデュースに携わった旅行会社の人の話を聞く

④このコースが実現するためには何が必要ですか？

地下神殿の見学時間が固定されるので、全体の行程のあり方を検討すべき

⑤このコースの宣伝の文句を考えて下さい。

首都を守る超巨大施設に潜入!!

このプランのキーワードは、「防災」「地域活性化」「観光」だね。

「首都圏外郭放水路」は、仮面ライダーのロケ地としてもお馴染みだね。神殿のような雰囲気なんだ。なぜここを観光施設にしようと思ったんだろう?お話を聞くのがすごく楽しみだなあ。





フィールドワークプランシート

()組 メンバー()

①コースのコンセプト

国際社会に生きる一人として、世界を意識する

※SDGsの何番にあてはまりますか?(1、10、17)

②行きたいところ(ざっくりでも、具体的でもOKです)

- ・JICA 地球ひろば見学
- ・留学生の方と浅草めぐり(英語でやりとり・・・?)

③どんな事前学習をしたいですか?

世界の貧困脱出ゲーム(ワークショップ)を実施。
途上国の課題を考え、解決方法を考えるグループゲームを行う

④このコースが実現するためには何が必要ですか?

- ・ホスピタリティの心 ・浅草のコースをそれぞれ考える

⑤このコースの宣伝の文句を考えて下さい。

グローバルな体験をして、グローバルな視野を身に付けよう!

これは「東京にしながらグローバルなコースを作れるといいなあ・・・」という思いからできたプランだよ。

途上国の課題を考えたいなと思って調べたら、ゲームをしながら楽しく学べる NPO 法人の団体があったんだ。ぜひ事前学習でやってみたいな。
当日は、JICA 見学や留学生の方と街歩き。異文化交流ができそうでワクワクしちゃう!



大自然の中で過ごしたいなら、こんなプランもいいよね。生きものの観察をしたり、地層の学習をしたりして、環境保全の課題を意識したいな。砂浜で貝を拾うのも楽しみだね。当日は、レンジャーガイドさんにたくさん質問できるように準備しておこうっと。



フィールドワークプランシート

()組 メンバー()

①コースのコンセプト

大自然を学ぶ、感じる

※SDGsの何番にあてはまりますか?(13、14、15)

②行きたいところ(ざっくりでも、具体的でもOKです)

- ◎観音崎自然公園(地質・地層見学)、自然博物館見学(地元のフィールドレンジャーガイドの方による説明付き)
- ◎ビーチコーミング

③どんな事前学習をしたいですか?

当日案内して下さるフィールドレンジャーガイドの方のお話を聞く、地層や海の生き物について調べる

④このコースが実現するためには何が必要ですか?

- ・野外の活動が多いため、防寒などの準備をする
- ・生物や自然についての質問を考える

⑤このコースの宣伝の文句を考えて下さい。

レンジャーガイドの方の案内付きで、大自然の偉大さを知るツアーです!



ワークシート〔3〕コースプレゼン（クラス）

（ ）組（ ）番（ ）

1. 自分が考えたコースを紹介するための準備をしましょう

この欄は、コースを紹介する際に必要な説明を書く等、メモ用に使って下さい。1人3分で紹介します。訪問先の画像を検索して準備しておき、スマホやタブレットの画面を見せながら紹介しても OK です。皆が行きたくなるように、魅力的な説明をしましょう！

発表形式（例）

【はじめ】（氏名）です。私たちは「～」をテーマに設定し、〇〇と□□に行くプランを立てました。それでは具体的に説明します。…（3分に収まるよう、話題を選んで下さい）

【おわり】以上です。ありがとうございました。

2. グループになって自分が考えたコースを紹介し合いましょう

【聞き取りメモ】

名前	内容と、聞いていて気づいたこと（質問や改善案など）
さん	
さん	
さん	
さん	
さん	

3. 他の人のプランに対して、コメント（質問・感想等）を言いましょう（1人1分）

自分のコメント内容や、他の人からもらったコメント内容をメモしましょう

4. 良いと思うプランを1つ選び、その理由を書きましょう

自分が選んだプラン（ ）

理由：





ワークシート〔4〕コースプレゼン（全体）

（ ）組（ ）番（ ）

1. プレゼンを聞いてメモしましょう

【聞き取りメモ】

班名	内容と、聞いていて気づいたこと（質問や改善案など）
組	
組	
組	
組	
組	
組	
組	
組	

2. 質疑応答の内容を書きましょう（積極的に質問してくださいね！）

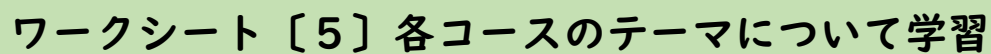
--

3. 旅行業者の方からの講評を書きましょう

--

4. 本日の感想を書きましょう

--



フィールドワークに向けて(1回目) ()組 ()番 ()

1. 【午前】の行き先

--

2.訪問先（施設や団体、企業）について調べましょう

どのようなところか／何を行っているのか／社会の課題解決に向けてどのような取り組みをしているか 等、調べて書きましょう。

どのようなところか／何を行っているのか／社会の課題解決に向けてどのような取り組みをしているか 等、調べて書きましょう。

出典：

3. 訪問先に関連したキーワード(例:貧困、まちづくり、環境保全など)を一つ選び、調べましょう

選んだキーワード【 】

選んだキーワード【	】
出典：	

4.実際にフィールドワークで何を見て、どんなことを聞きたい(体験したい)か書きましょう

箇条書き OK。問いの形にしてもいいし、文章にしてもいいです

箇条書き OK。問いの形にしてもいいし、文章にしてもいいです

フィールドワークに向けて(2回目) () 組 () 番 ()

1.【午後】の行き先

2.訪問先（施設や団体、企業）について調べましょう

どのようなところか／何を行っているのか／社会の課題解決に向けてどのような取り組みをしているか 等、調べて書きましょう。

出典：

3.訪問先に関連したキーワード(例:貧困、まちづくり、環境保全など)を一つ選び、調べましょう

選んだキーワード【

】

「◎◎ 論文」と
検索して読み、
どんなことが課題
になっているか
調べてみるのも
おススメだよ。

出典：



4.実際にフィールドワークで何を見て、どんなことを聞きたい(体験したい)か書きましょう



ワークシート〔6〕フィールドワーク事前学習発表会

() 組 () 番 ()

1. 発表内容をまとめましょう

自分が行くコースやテーマについて、調べたことを紹介します。1人3分。訪問先の画像を検索して準備しておき、スマホやタブレットの画面を見せながら紹介してもOKです。話す内容をここで整理しておきましょう。

発表形式（例）

【はじめ】（氏名）です。私は「～～」コースに参加します。今回はそのテーマ（or 訪問先）「◎◎」について調べました。まず、…（3分に収まるよう、話題を選んで下さい）

【おわり】以上です。ありがとうございました。

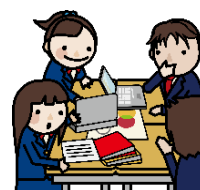
2. グループになって紹介しましょう

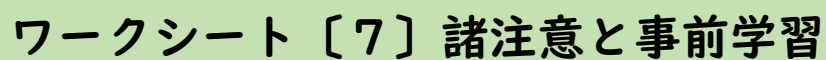
【聞き取りメモ】

名前	内容
さん	
さん	
さん	
さん	
さん	

3. 本日の学習の振り返りをしましょう（感想記入）

今回新たに知ったことや、本日の感想を具体的に書きましょう。





参加コース名

1. 【1 限】諸注意を聞いて、必要事項を記入しましょう。先生からの話の内容も書いておきましょう

2. 【2限】事前学習で学んだことと、気づいたこと・考えたことを書いておきましょう

2. 【3限】事前学習で学んだことと、気づいたこと・考えたことを書いておきましょう

活動内容〔		〕
-------	--	---



ワークシート〔8〕コースごとに振り返り

() 組 () 番 ()

1. フィールドワークを経験して知ったことや考えたことを書きましょう

【午前】

【午後】

2. 同じコースを選択した人達と感想を共有しましょう

簡条書き可。友人の意見で、自分では気づかなかったことがあれば書いておきましょう。

3. グループごとにポスターまたは動画を作成して全体発表会の準備をしましょう

・グループごとにポスターまたは動画を作成します。動画の場合は QR コードも作成してください。

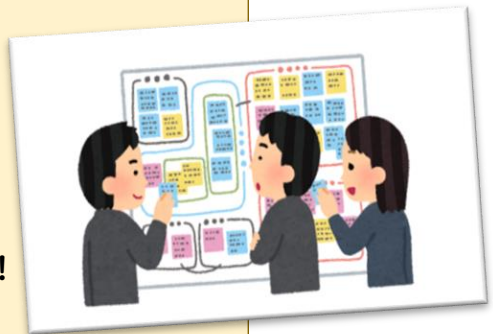
★ フィールドワーク中での気づきや、社会全体を捉える力が
魅力的な作品を作るポイントです！
研修中にたくさんメモをとって、まとめ作業に活用しましょう！

★ 口頭説明がなくても皆が一目見て理解できるような
見やすい・わかりやすい構成を目指しましょう！

★ ポスターは模造紙 1 枚に作成します。
3m先からでも目を引くようなデザインを考えましょう！

★ 動画は1～5分程度。スライドに音声を入れても、人が登場しても
何でも OK です。最後まで見ている人を引きつけられるような
工夫を盛り込みましょう！

★ 表現力、説明力が問われる作業です。グループで協力しましょう！



・スライド、ポスター、動画は以下のことが伝わるように構成してください。

- ① コースの概要
- ② 事前学習で学んだこと
- ③ フィールドワーク中に発見したこと(気がついたこと)
- ④ フィールドワークをしていて、疑問に感じたこと
(その後調べてわかったことも足せるようなら、それも)
- ⑤ フィールドワークを経験した参加者の感想
- ⑥ フィールドワークの様子がわかる写真など
- ⑦ フィールドワークで出会った働く人について
(その職業の魅力や、抱えている課題など)
- ⑧ 各研修場所についてのアクセス方法など
- ⑨ 自分達で立てた問いと、その答え
(意識した課題とその解決策)
- ⑩ その他

①～⑥までは必須内容
⑦以降は任意で選択します



どんなのができあがるか
とっても楽しみ！
協力して頑張ろうね！





ワークシート〔9〕全体発表会

() 組 () 番 ()

1. ポスターや動画、発表についてメモしましょう

【メモ】

班名	コース	内容と感想
組		
組		
組		
組		
組		
組		
組		
組		
組		
組		
組		

2. 本日の感想を書きましょう

--



ワークシート [10] 2年次コースを知る【A 研修旅行リーダープロジェクト】

() 組 () 番 ()

1. 「A 研修旅行リーダープロジェクト」の説明を聞いて、各コースの特徴を書いておきましょう。

【沖縄研修】（リーダー枠： 名、旅行枠： 名）テーマ（ ）



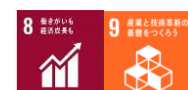
【奄美大島研修】（リーダー枠： 名、旅行枠： 名）テーマ（ ）



【東北研修】（リーダー枠： 名、旅行枠： 名）テーマ（ ）



【中国研修】（リーダー枠： 名、旅行枠： 名）テーマ（ ）



【マレーシア研修】（リーダー枠： 名、旅行枠： 名）テーマ（ ）



2. 本日の感想（良かったコースや考えたこと、質問等）を書きましょう。

--



ワークシート [11] 2年次コースを知る【B アカデミックプロジェクト】

() 組 () 番 ()

1. 「B アカデミックプロジェクト」の説明を聞いて、各コースの特徴を書いておきましょう。

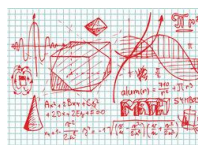
【法学・政治学プロジェクト】(定員: 名) 主な協力: 法学部



【経済学・商学プロジェクト】(定員: 名) 主な協力: 経済学部、商学部



【STEAM 探究プロジェクト】(定員: 名) 主な協力: 理工学部、国際情報学部



【グローバルプロジェクト】(定員: 名) 主な協力: 国際経営学部、総合政策学部



【文化活動プロジェクト】(定員: 名) 主な協力: 文学部



2. 本日の感想（良かったコースや考えたこと、質問等）を書きましょう。

--



〔12〕1年 SDGs 探究のレポートまとめ

【課題1】この一年間「探究」で学んだことについて、レポートにまとめるための探究マップを組みましょう。

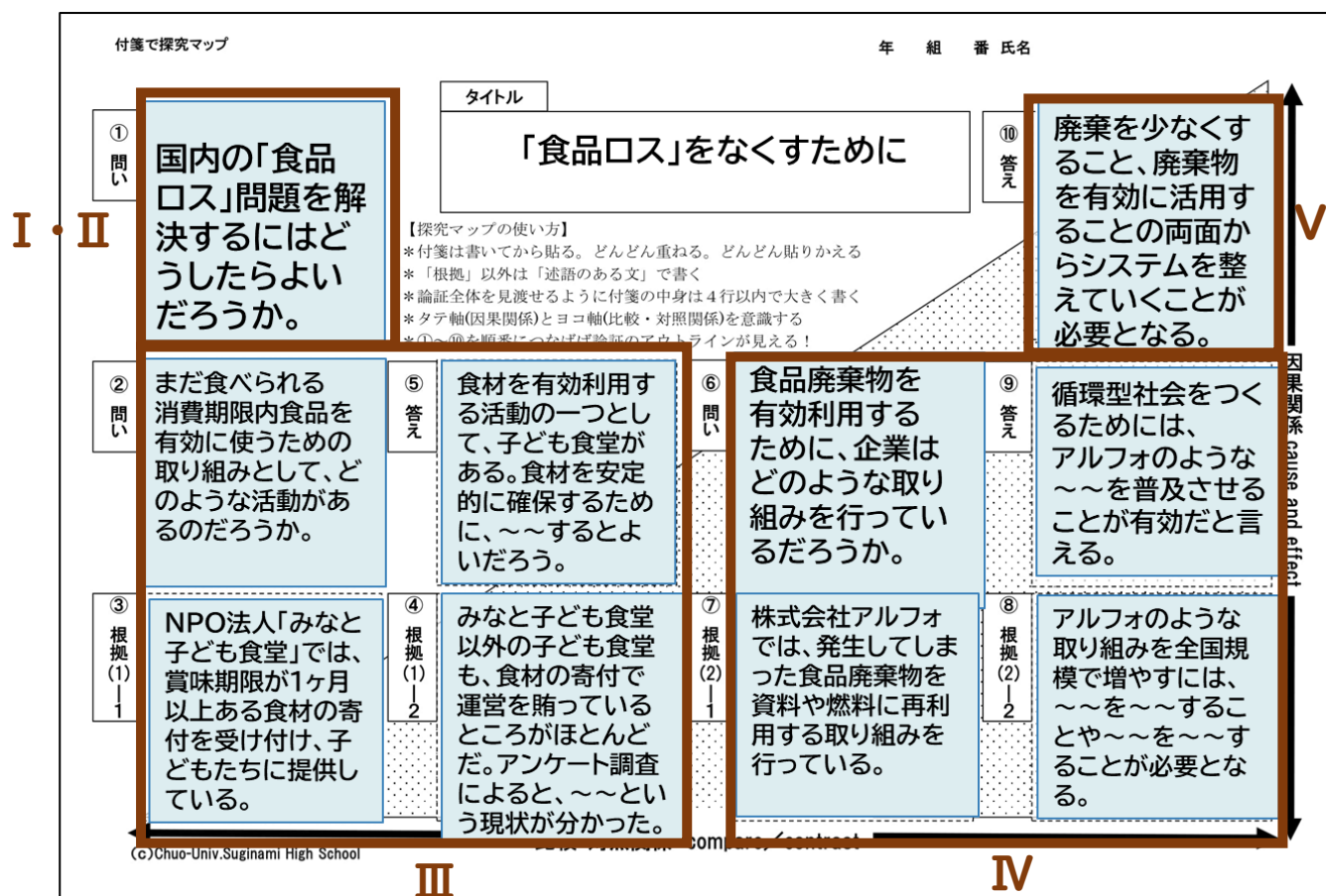
💡前半で学んだ SDGs についてでも、フィールドワークについてでも、または両方の学習を盛り込んだ内容でも構いません。1枚のマップに調べたことや考えたことをまとめてみましょう。



まずは問いを立てて（＝テーマを決めて）みよう。

学んだ SDGs の項目から1つ選んで「〇〇（例・食品ロス）の問題を解決するには」としてもいいし、フィールドワークで訪れたところを思い出しながら「□□（例・子ども食堂）を普及させるためには」等としてもいいよ。付箋をどんどん貼り替えて、試行錯誤しながらいいものにしていこうね。

探究マップ・作成例



💡探究マップが完成したら、レポート（次頁参照）を書きましょう。↑に示したローマ数字は章立てです。①の付箋…I章・II章、②～⑤の付箋…III章、⑥～⑨の付箋…IV章、⑩の付箋…V章、というようにそれぞれの章を立てて、内容をまとめます。

【課題2】作成した探究マップをもとに、レポートを書きましょう。

💡配信した Google document に上書きする形で、レポートを作成しましょう（1枚以上）。

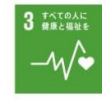
💡脚注には、情報の出典（引用元）を記します。

フォントはメイリオ

タイトルは14pt、氏名は12pt、本文は10.5pt

関連する SDGs の
アイコンを貼ろう

「食品ロス」をなくすために



1年9組46番 中杉 太郎

I はじめに

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を「食品ロス」という。2008年以降、日本では、年間約612万トンの食品ロスを発生させている¹。かといって、日本に住むほとんどの人が食に困っていないかというそうではない。多くの食べ物が捨てられている一方で、貧困に苦しんでいる人が～。このような現状で私達にできることを考えるため、私は循環型社会を考えるフィールドワークに参加した。

II 日本の「食品ロス」の現状と課題

~~~~~。

II章はテーマに設定した分野の現状と課題を調べてまとめよう、白書等を調べてデータを用いるといいですよ（国や企業等、公的なHPの引用はOK！）

#### III 株式会社アルフォの取り組み

フィールドワークで訪れた株式会社アルフォ（図1）では、発生してしまった食品廃棄物を資料や燃料に再利用する取り組みを行っている。この取り組みにより、～。



（図1）2023年1月12日撮影

図や写真を載せてもいいですね、載せたら（図1）（図2）・・・とし、引用元を示してください

#### IV 「みなと子ども食堂」の取り組み

~~~~~。

V章は結論です
わかったことや考えたこと、
社会への提言等を書こう

V 「食品ロス」を解消するために必要なこと

~~~~~。

出典の書き方は、  
次の頁を見てね！

Wikipedia は✖辞書・字典サイトも✖  
ネット情報だけでなく、本や論文も  
積極的に読んで取り入れてみよう！

<sup>1</sup> 農林水産省（2021）「食品ロス量の公表」 <https://www.maff.go.jp/shokusan/kankyoi/210427.html>  
2022年2月1日閲覧

## 【レポートを書く際の注意】

1. 「だ」「である」体で書こう。
2. 出典は、以下のように記そう。

①～④の出典の書き方は、APA 方式と言って社会科学系の論文では一般的な記述方法なんだ。  
大学生になってからも使えるよ。



### ① 単行本

#### 1) 単著書の場合 著者名 (発行年) 『書名』 出版社名、引用頁

例) [通常] 正岡子規 (1902) 『子規随筆』 春陽堂、p.101

[新書・文庫] パオロ・マツツァリーノ (2007) 『つつこみ力』 ちくま新書、pp.33-37

\* 新書や文庫の場合、出版社名ではなく新書名・文庫名を記す

[翻訳書] W-J・オング／桜井直文・林正寛・糟屋啓介訳 (1991) 『声の文化と文字の文化』 藤原書店、pp.14-15

\* 翻訳者名は、著者名の後に「〇〇〇〇訳」という形で

#### 2) 共著書の場合 著者名 (発行年) 「分担執筆題名」 編者名 編(いない場合は単行本全員の著者名) 『書名』 出版社名 引用頁

例) 赤間亜生 (1994) 「〈未亡人〉という記号」 小森陽一・中村三春・宮川健郎編 『総力討論 漱石の「こころ」』 翰林書房、p.118

\* 最初に収録論文の情報、その次に単行本自体の情報を

### ② 雑誌記事、雑誌論文

#### 1) 著者名 (発行年) 「雑誌記事、論文題名」 『雑誌名』 「特集名」 巻・号所収、出版社あるいは発行機関、引用

例) 日高佳紀 (2000) 「トランス・ジェンダー」 『國文學 解釈と教材の研究』 「恋愛のキーワード集」 第46巻第3号所収、学燈社、p.203

\* 「所収」(収められている) という語を忘れないこと

### ③ 新聞記事

#### 1) 著者名 (あれば) 「新聞記事題名」 『新聞名』 〇〇版、発行年月日、朝刊・夕刊の別

例) 村雲司 (2003) 「米大使館前で抗議排除とは」 『朝日新聞』 東京版、2003年 3月 20 日朝刊

### ④ インターネット

#### 1) サイト主宰者名 (発行年) 「サイト名」 URL 最終閲覧日

例) 総務省統計局 (2010) 「日本の統計」 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>  
2022 年 6 月 14 日閲覧

## 3. サイトを参照する際、以下のことに注意しよう。

個人のブログや匿名の掲示板、Wikipedia、コトバンク等の辞書・字典のサイトは引用元として使えません。以下の①～③は引用可です。

- ① 政府や官公庁によって公開されている基礎データや報告書 
- ② 大学などの学術機関が公開している論文や研究成果 
- ③ 企業や公的な研究機関が公開している調査報告や研究成果 

## 【知っておくと便利なサイト】

眺めているだけでも  
楽しいサイトがたくさん  
あるよ、覗いてみてね。



### 書籍検索サイト

「新書マップ」 <https://www.shinshomap.info/>

キーワードを入ると、テーマ別に新書・選書が探せます

「Webcat Plus」 <http://webcatplus.nii.ac.jp/>

あるキーワードを打ち込むと、それに相当する書籍と、そのキーワードから連想されるほかのキーワードも拾ってくれます

「みらいぶつくグループ みらいぶプラス」 <https://www.milive-plus.net/>

河合塾提供、気になる学問から本を探せるサイト。大学の先生のインタビュー等も載っています

「中央大学図書館 CHOIS」 <http://www.library.chuo-u.ac.jp/opac/>

蔵書数約200万冊。著者名・書名・出版社・出版年を調べて担当の先生に頼めば、大学から中杉まで届けてくれます。返却は担当の先生を通じて行うこと！

### 論文検索サイト

「CiNii (サイニイ)」 <http://ci.nii.ac.jp/>

「J-STAGE (ジェイステージ)」 <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>

「Google Scholar (グーグルスカラー)」 <http://scholar.google.co.jp/>

「検索キーワード PDF」と入力すると、インターネット上で読める PDF 化された論文を検索できます  
検索キーワード例)「食糧問題 (スペース) PDF」

### 統計・年鑑等

「e-Stat 統計で見る日本」(政府統計のポータルサイト) <https://www.e-stat.go.jp/>

「日本の統計」(総務省統計局) <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index1.html>

「日本統計年鑑」(総務省統計局) <https://www.stat.go.jp/data/nenkan/index1.html>

「RESAS (リーサス) 地域経済分析システム」(内閣府&経産省) <https://resas.go.jp/>

地方創生の様々な取組を情報面から支援する目的で作られた統計サイトです

「V-RESAS (バイリーサス)」(内閣府) <https://v-resas.go.jp/>

新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響の可視化を目的としたデータを提供しています

### ☐中杉の図書室 PCにある「中杉図書室パスファインダー」を活用しましょう☐

外部の有料データベースが使えます(過去の新聞記事が検索できてとても便利)。

使い方は、カウンター内の司書の先生に聞きましょう。

### 有料データベース

「スクールヨミダス」(『読売新聞』記事検索)

「朝日けんさくくん」(『朝日新聞』記事検索)

「日外 MAGAZINE PLUS」(雑誌記事検索)



※有料なので、使用後は必ず「ログアウト」しましょう！



## 【付録】フィールドワークのコースを考えるヒント

いきなり「フィールドワークのプランを作ろう」って言われても何も思い浮かばないなあ…という人達のために、考えるためのヒントを載せておくね。参考になるといいな。



### (1) 行きたいところはどこ？～行き先から考えよう～



フィールドワークって、「みんなと行ける日帰り遠足」みたいなもの。だから、まずは行きたいところはどこか挙げてみよう。あっ、TDRは候補から外してね。ぼくとミッキー君は互いに異次元の世界で生きることによって平和を保っているからね。



それなら、動物園に行きたいです！  
高校生になってから行ってもきっと楽しいですよ。小さい頃に気づかなかったところにも目が向いて、新たな発見があるんじゃないかなと思います。



いいね！じゃ、動物園にただ楽しみに行くのではなくて、学びの要素を加えよう。動物園って、課題を挙げるとしたらどんなものが思いつくかな？もし何も思いつかないようなら、「動物園 ニュース」と検索して、最近何が問題になっているか調べたり、論文検索サイトで「動物園」で検索して、いくつか読んでみたりするといいよ。

なるほど～。論文を検索して読んだら、動物園の課題の一つとして「動物福祉の確立」があることがわかりました。動物福祉って、今日本ではどうなっているのか調べてみようかな。法律はどうなっているのだろう。専門の先生にお話も聞いてみたいなあ。



たとえば「動物園」の研究をしている先生を探すには、「動物園 法律」と、キーワード検索をして論文の著者を探すとか、「動物園 研究 大学」というワードで検索して、大学や研究機関を見てみるとか、そんな方法もあるよ。



日本動物学会という研究団体があって、そこにインタビューしたいなと思いました。まずはそこにお話を伺い現状を知り、実際に動物園では動物福祉の観点から配慮が行き届いているか、見たり飼育員さんに質問したりするのはどうかなあと思います。考えてみます！

## (2) やりたいことは何？～課題とそれを解決する方法から考えよう～



1 学期の SDGs 学習がきっかけで、日本でも貧困が大きな問題になっていることが分かって…途上国だけの問題じゃないんだって、それ以来ニュースに目が行くようになったんです。でも、実際どうなっているのかよくわからないし、自分に何ができるのかもわからない。でも、貧困問題に関わっていきたいと思っています。どうすればいいのでしょうか？



貧困問題に関心がある、ということで関わりたい分野ははっきりしているんだね。じゃあ、その「貧困」をキーワードにして、何か社会問題の解決のために取り組んでいる企業や団体があるか、そしてそこが訪問可能か、調べてみよう。たとえば「貧困 企業 取り組み」「貧困 NPO 取り組み」「貧困 自治体 取り組み」等で検索してみようか。

検索するとたくさんヒットしました！目を引いたのは、ある NPO 法人の「中学生への学習支援」という活動内容です。学習場所と学習支援スタッフを用意し、中学生がいつでも利用できるように居場所作りを行っています。また、自治体や企業と連携している子ども食堂も気になりました。子どもだけでも親子でも、夕食を一食 50 円で提供しているそうです。このような活動を続けるために、どのような工夫をしているのか知りたいです。ところで、NPO 法人ってなんですか？企業とどう違うのでしょうか？



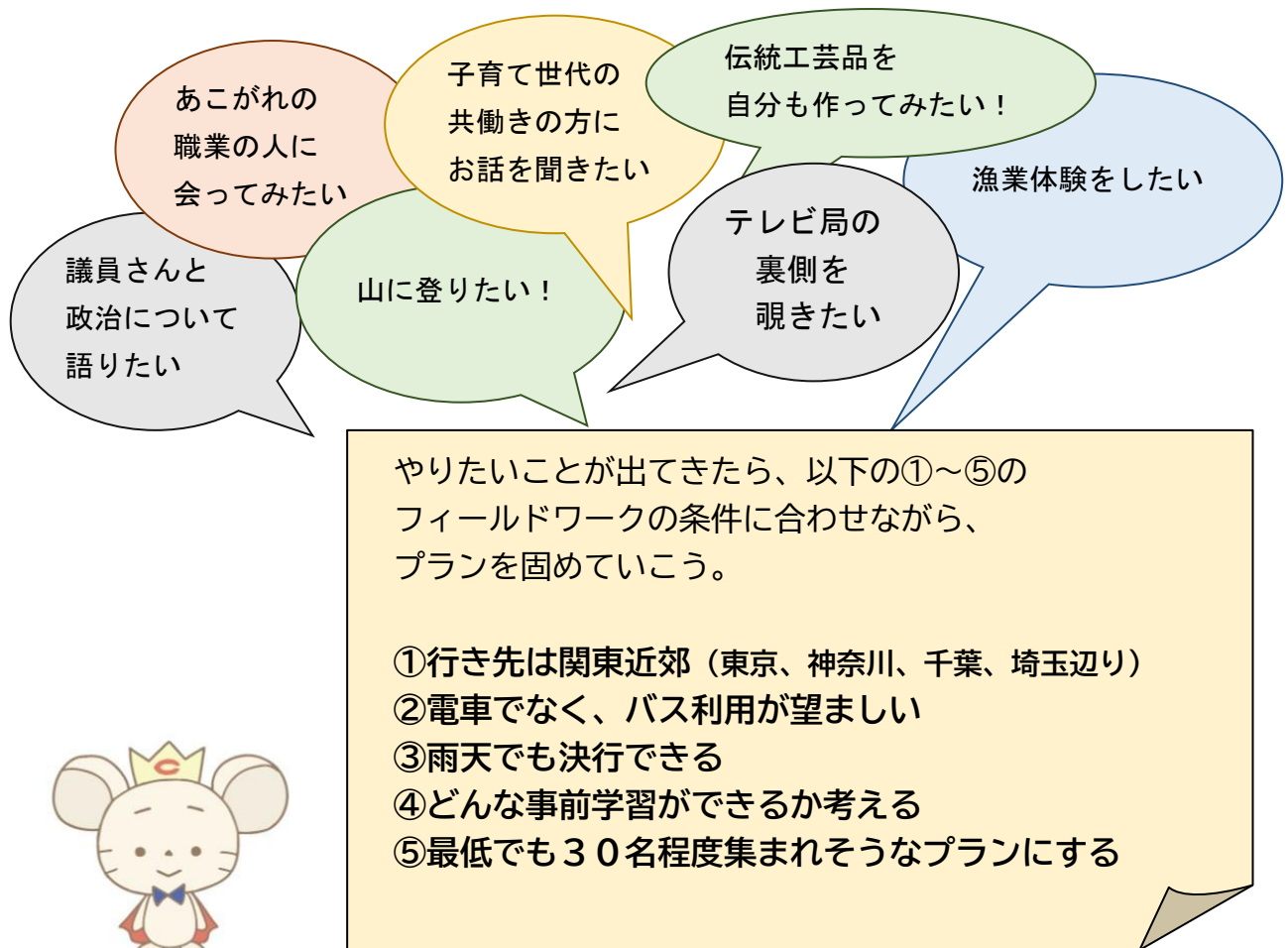
いいね！注目した団体に訪問できるか、メールや電話で問い合わせしてみるのもいいかもしれないね。問い合わせをするときは、先生にひとこと言ってね。NPO 法人というのは、「民間で、公益に資するサービスを提供する非営利団体」のことだよ。「非営利」というところが企業と違うよね。でも、すべて無償で行うボランティアとも違うんだ、NPO は、活動することで収益をあげて、そこから職員の給料などの経費を引いて残った分は利益とすることができる法人組織なんだよ。



そうなんです！意義ある活動を継続するために、NPO として組織で取り組んでいるのです。

調べてみたら、35 名まで見学可、とのことでした。また、学習支援の方は、学習ボランティアの補助として、教科書にルビをふるお手伝いができるかもしれません。他の団体も、支援体験ができそうか調べてみます。

### (3) こんなことできる？（自分のアイデアを条件に合わせていく）



あこがれの職業の人に会ってみたい

子育て世代の共働きの方にお話を聞きたい

伝統工芸品を自分も作ってみたい！

漁業体験をしたい

テレビ局の裏側を覗きたい

山に登りたい！

議員さんと政治について語りたい

やりたいことが出てきたら、以下の①～⑤のフィールドワークの条件に合わせてながら、プランを固めていこう。

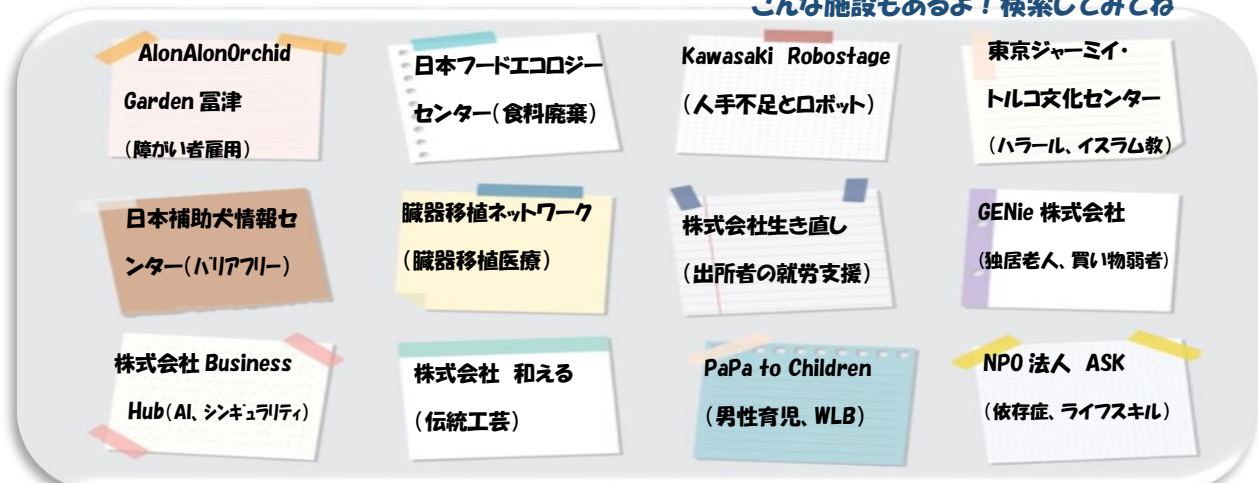
- ①行き先は関東近郊（東京、神奈川、千葉、埼玉辺り）
- ②電車でなく、バス利用が望ましい
- ③雨天でも決行できる
- ④どんな事前学習ができるか考える
- ⑤最低でも30名程度集まれそうなプランにする



👉チェックしながら、プランを組み立てていこう👉

- ✓ 移動時間に無理がないようになっている？
- ✓ 訪問先の施設は休館日ではない？
- ✓ 訪問先の施設の受け入れ人数は充分かな？（30名以上受け入れてくれる？）
- ✓ 訪問先の見学申し込み期間は余裕がある？
- ✓ その他（ ）

こんな施設もあるよ！検索してみてね



|                                      |                        |                                   |                                   |
|--------------------------------------|------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| AlonAlonOrchid Garden 富津<br>(障がい者雇用) | 日本フードエコロジーセンター(食料廃棄)   | Kawasaki Robostage<br>(人手不足とロボット) | 東京ジャーミイ・トルコ文化センター<br>(ハラール、イスラム教) |
| 日本補助犬情報センター(ハリアフリー)                  | 臓器移植ネットワーク<br>(臓器移植医療) | 株式会社生き直し<br>(出所者の就労支援)            | GENie 株式会社<br>(独居老人、買い物弱者)        |
| 株式会社 Business Hub(AI、シンギュラリティ)       | 株式会社 和える<br>(伝統工芸)     | PaPa to Children<br>(男性育児、WLB)    | NPO 法人 ASK<br>(依存症、ライフスキル)        |

情報提供：東武トップツアーズ株式会社

#### (4) フィールドワークのコース例

58 期のときに立てたコース計画(抜粋)

だよ。60 期はどんなコースができるか

楽しみだね！



| テーマ                         | 行先                  | 内容                                | 事前学習の内容                                                              | 新宿発着          | 昼食                              |
|-----------------------------|---------------------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------------|
| ①動物園の役割と工夫を知る               | 宮代<br>東松山<br>(埼玉)   | 東武動物公園と、子ども自然動物公園                 | 動物園に関する法律研究者・神奈川大学諸坂先生のお話や、54期生(動物園研究中)の話を聞きました。                     | 9:30<br>18:00 | 園内テラス<br>(幕の内弁当)                |
| ②TOKYO2020オリンピック施設とスカイツリー見学 | 墨田<br>日の出<br>棧橋 他   | チャータークルーズでオリンピック施設見学&スカイツリーバックヤード | 東京オリンピックについて、どのように進められてきたのか学習し、私たちのできることについて考えました。                   | 9:00<br>16:30 | 浅草・<br>葵丸進<br>(天麴羅御膳)           |
| ③知的な遠足(荒川の科学)               | 寄居<br>長瀬 他          | 川の博物館、河原と岩畳、長瀬川下り等                | 荒川の特徴、流域、川がもたらす恵みや水害について学習しました。                                      | 9:00<br>17:30 | ガーデン<br>ハウス<br>有隣<br>(ソースカツ丼)   |
| ④防災のインフラ整備                  | 春日部<br>有明           | 首都圏外郭放水路と、そなエリア訪問                 | 首都圏外郭放水路を観光資源とし、街おこしに携わる旅行者さんの講話を聴きました。防災のためのインフラ整備について学びました。        | 8:30<br>16:00 | 春日部・甲子<br>(松花堂弁当)               |
| ⑤江戸の伝統工芸体験                  | 墨田                  | ウサギの飴細工づくりと、江戸東京博物館見学             | 江戸文字の方にお越しいただき、伝統工芸についてお話を伺いました。また、54期生の落語も鑑賞しました。                   | 9:00<br>17:15 | 浅草・雷<br>5656会館<br>(深川炊き込み御膳)    |
| ⑥横須賀、鎌倉or江の島の過去と現在          | 横須賀<br>鎌倉 or<br>江ノ島 | 横須賀軍港クルーズと鎌倉 or 江の島散策             | 日米関係や江の島鎌倉の歴史等について学習し、問いを立てながら江の島鎌倉の散策コースを考えました。                     | 9:00<br>18:00 | メルキュール<br>ホテル<br>横須賀<br>(海軍カレー) |
| ⑦国際社会の中の日本                  | 品川<br>浅草            | ユニセフハウス訪問、浅草仲見世を留学生と散策            | NPO法人 HERO さんをお招きし、「富と貧困ゲーム」を体験し、世界の格差を考えました。                        | 9:00<br>17:30 | 浅草・三定<br>(天麴羅定食)                |
| ⑧エコロジーとサイエンス                | 荒川<br>お台場           | 荒川のゴミ拾いとお台場散策(日本科学未来館含む)          | NPO法人荒川クリーンエイドさんの講話とワークショップ。ゴミ拾いをイベント化し、河川ゴミ問題解決や水質回復を試みる活動を紹介頂きました。 | 9:00<br>17:30 | 浅草・雷<br>5656会館<br>(江戸前懷石)       |
| ⑨大自然に触れる                    | 観音崎                 | 観音崎自然公園で地層見学&ビーチコーミングと、自然博物館見学    | 自然博物館の館長さんのお話を Zoom で聞き、観音崎の地質の特徴を学びました。また、町田先生所有の貝殻を分類する活動を行いました。   | 8:20<br>18:00 | 博物館内の<br>休憩スペース<br>(幕の内弁当)      |
| ⑩コロナ禍のエンターテインメント            | 横浜                  | 宝探しと、カップヌードルミュージアム見学              | 宝探しの企画会社・タカラッシュ専務の講話。宝探しが商品化に至った過程や、コロナ禍で実施をどう工夫しているか等のお話を伺いました。     | 9:30<br>18:00 | みなとみらい<br>の会議室<br>(中華弁当)        |

## (5) もっと探究！終了後のアウトプットの方法を考える



フィールドワークを終えたら、自分達の気づきをどのように活かせるか考えてみよう。

校内で発表したり、レポートにまとめたりするだけでなく、もっとアクションを起こしたい！という人はぜひ動いてみよう！これをやりたい、という人は先生に報告してね。

### 【中杉 53 期生の例】自分達で商品開発！

タイで現地研修を行った生徒達が、「もっとお土産を買いたいのに商品が少ない。お土産が売れば経済も活性化するだろう」と特産品を生かしたお土産を開発。クラウドファンディングで資金を集め、試作・販売を行いました

### 【他校の例】子ども達へ普及！

SDGs の学習をし、「この理念は小さな頃から知っておく必要があるだろう」と考えたチームが「SDGs すごろく」を作成。地域の子ども会を対象にイベントを企画し、すごろくで楽しく SDGs を学んでもらいました

### 【他校の例】校内イベントを企画！

ゴミ削減の必要性を学んだ生徒達が、学校の清掃業者の方にインタビューを行い、分別がうまくいっていないことを知る。美化委員や生徒会と協働し、2週間の「ゴミ削減&正しく分別キャンペーン」を実施しました

### 【他校の例】企業や施設に提案！

動物園で動物相談員の方へインタビューを行った結果、檻と飼育舎それぞれに十分なスペースをとることが難しい現状を知る。そこで、檻を2階建てにするデザインを考え、園に提案を行いました

アイデアをメモしよう



## おわりに

### 「百聞は一見に如かず」

皆さんの中でこのことばを知らない人はいないでしょう。出典は、『漢書』趙充国伝の一節「充国曰百聞不如一见。兵難踰度。(充国曰く、百聞は一見に如かず。兵は、かにして度り難し)」です。「聞くだけでなく、実際に**見て**みないとわからない。」というこのことば。机の上であれこれと調べたり聞いたりして考えるだけよりも、一歩外へ飛び出して、現地や現場で生の声を聞いたり、見たり、体験した方がいいということです。フィールドワークを行う皆さんに贈ることばとして、まさにうってつけですね。実際に行ってみてどうでしたか? 「今」「ここ」の課題を実際に目にして、体験して、実感することができましたか?

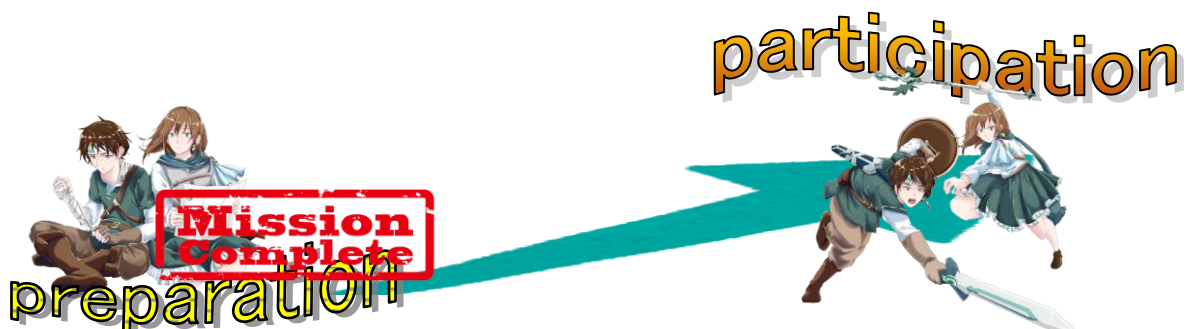
さて、この「百聞は一見に如かず」、後世において続きが作られ付け足された、とされています。どんな続きかというと…

### 「百見は一考に如かず、百考は一行に如かず、百行は一果に如かず、百果は一幸に如かず、百幸は一皇に如かず」

すなわちその続きは、「見るだけでなく**考え**ないと意味がない。考えるだけでなく、**行動**すべきである。行動するだけでなく、**成果**を出さなければならない。成果をあげるだけでなく、それが**自分の幸せ**に繋がらなければならない。自分の幸せだけでなく、**みんなの幸せ**を考えることが大事である。」という意です。意義ある行動を追求すると、最も尊重すべきはあらゆる人々の幸福を実現することなのだ、という思想に辿り着くのです。奇しくもこの思想は「誰一人取り残さない」という SDGs の理念に通底しています。時代や地域を越えても大切にしたいことは同じなのだということ、なんとも興味深いですね。

この一年、皆さんが SDGs を「学び、聞き、調べたこと」、フィールドワークをやって現地で「見たこと、体験したこと」は、「考えること」「行動すること」「自分のみならず皆の幸せを考えること」に発展していくでしょう。「探究」の中で一歩踏み出した道は、おのものの視野を広げ、社会の課題を解決するために動ける人（「行動する知性」を備えた人）に成長する道へと通じているのです。

皆さんはこの「探究」を通じて、社会に対してさまざまなアクションを起こすための【**準備 (preparation)**】を無事終わりました。基礎的な知識・考える力・動こうとする力を身につけました。次の一年間は【**参画 (participation)**】です。C.S JOURNEY の新たなステージでさらに学びを深め、主体的に動ける力を身につけていきましょう。





*Illustrated by Mao.O (CS58th)*



中央大学杉並高等学校  
 〒167-0035  
 東京都杉並区今川 2-7-1  
 Tel:03-3390-3175  
<http://www.chusugi.jp/>  
 禁無断転載および複製